

# Interstage Navigator Server のクライアント機能を使用する場合の注意事項

第 4 版 2017 年 3 月 31 日

富士通株式会社

## 1. 概要

Interstage Navigator Server のクライアント機能を使用する場合の注意事項について説明します。

Web クライアント機能については、別紙の「Internet Explorer 11 で Interstage Navigator Server の Web クライアント機能を使用する場合の制限事項」をご参照ください。

## 2. 本情報の対象となる環境

本情報の対象製品	Interstage Navigator Server Enterprise Edition 9.2.0 以降 Interstage Navigator Server Standard Edition 9.2.0 以降
本情報の対象 OS	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7 ※

※ Windows 10, Windows 8.1 のみの制限事項については、章見出しの後ろに [Windows 10/8.1 のみ] と記載します。

## 3. 注意事項

### 3.1. Navigator Windows クライアントの設定情報の格納先における注意事項

Windows クライアントの設定情報は、デフォルトで以下の格納先に「SymNavi.INI」のファイル名で作成され、Windows へのログオンユーザごとに異なる設定情報が保存されます。

C:\¥Users¥{ログインユーザ}¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows

以下のような場合には、Windows クライアントの設定情報の格納先を変更することで対処できます。

- Windows クライアントの設定情報をユーザ間で共通の設定とする場合
- 仮想デスクトップ環境でデフォルトの格納先がログオフするたびに削除される場合など

※ 「InitNaviCL.ini」を設定した場合、Navigator ツールの[サーバに接続]画面の[サーバ]の表示内容は Windows クライアントで接続した内容にしたがって表示されます。

※ HTTP トンネリングを利用する環境では「InitNaviCL.ini」を設定できません。

Windows クライアントの設定情報の格納先を変更するためには、以下の設定を行ってください。

① 以下の内容を記述したファイル：「InitNaviCL.ini」を作成します。

```
[Setting Files]
IniFileSavePath={格納先ディレクトリ}
```

または

```
[Setting Files]
IniFileSavePath=<Install Dir>
```

※格納先ディレクトリに"<Install Dir>"を指定した場合、以下が格納先ディレクトリとなります。

{Windows クライアントのインストールディレクトリ}¥bin

② 「InitNaviCL.ini」を以下のディレクトリに格納します。

{Windows クライアントのインストールディレクトリ}¥bin

### 3.2.Navigator API サンプルプログラムを実行する場合の注意事項 [Windows 10/8.1のみ]

Windows 10 / Windows 8.1 では、標準でインストールされる .NET Framework のバージョンが 4.6 / 4.5 となります。

Navigator API にサンプルプログラムとして添付される Visual Basic 用プログラム (VB\_Sample\_1、VB\_Sample\_2) を実行する場合には、.NET Framework 3.5 をインストールしてください。また、.NET Framework 3.5 が無効化されている場合には有効化してから実行してください。

.NET Framework 3.5 のインストール方法については、マイクロソフト社の公開情報を参照ください。

#### 4. 略語表記について

本書では、以下の製品を「Windows 10」と略記します。

- Windows(R) 10 Home
- Windows(R) 10 Pro
- Windows(R) 10 Enterprise
- Windows(R) 10 Education

本書では、以下の製品を「Windows 8.1」と略記します。

- Windows(R) 8.1
- Windows(R) 8.1 Pro
- Windows(R) 8.1 Enterprise

本書では、以下の製品を「Windows 7」と略記します。

- Windows(R) 7 Home Premium
- Windows(R) 7 Professional
- Windows(R) 7 Enterprise
- Windows(R) 7 Ultimate

本書では、以下の製品を「Internet Explorer 11」と略記します。

- Windows(R) Internet Explorer(R) 11

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

—以上—